



緑化建設協会だより

発行所 社団法人 石川県造園緑化建設協会 広報委員会

発行責任者 山崎 純

〒920-0374 金沢市上安原町137街区7番地 TEL076-269-1110 FAX076-269-1279

新会長の抱負



会長 中川 茂

協会員の皆様には益々御盛業のことと拝察申し上げます。平素は(社)石川県造園緑化建設協会の活動に御支援御協力を賜りまして深く感謝いたしております。

さて、私は去る5月27日の総会ではからずも新会長に選出されました。植村前会長は人望厚く十年間にわたり協会をリードし、その間2001年の「第19回全国都市緑化フェア」開催という大事業にも協会として深く関わる事もできました。その後を受け十分に会長の責務を果せますやら不安を感じております。しかし新理事の方々、会員各位の力を借りまして、微力ではありますが誠心誠意努力する所存でございます。我々造園業界を取り巻く現状は皆様が御承知のように決して良いとはいえません。構造改革の名のもと公共での発注工事は年々減少しており、民間においても非常に厳しい状況であります。

も吸収源対策の一つとして重要性が高まってきています。協会でも昨年は、四十万小学校での校庭緑化を積極的に事業展開し、石川県や金沢市及び地域住民に校庭緑化の良さをアピールしてきました。また「景観緑3法」も制定されるなど緑化事業の未来は決して悲観するものではないと考えられます。ただ我々の仕事に反映されるには数年以上を要するのではないかと思われますので、協会も大きな波に翻弄されることなく、石川県の地域の独自性と自然との共生を実現すべく、地域の住民とも連携して住みよい町づくりをすすめるに際し、いま我々に何ができるのかを会員一人一人が考え、その力が結集した時、協会も一つの大きな力となって活動できると考えます。与えられた2年間の任期でどれほどのことが出来るかは判りませんが、皆様の力を結集し新理事一同頑張つて行きたいと念じています。会員の皆様の御支援と御厚情を賜りますようお願い申し上げます。

事業活動計画

1.環境緑化推進諸事業への取組みについて

- ①「砂丘地緑化」、「農山漁村環境整備事業」等の調査研究を更に推進し、実現化するため県の関係機関における調査研究等に積極的に協力していくこととする。
- ②業界として環境緑化問題に、どのように関わっていくべきかを調査研究するため、新設の県立大学や試験機関に協力を求め「産官学」の共同調査研究体制の確立を推進することとする。

2.環境緑化啓蒙への取組みについて

- ①「前庭コンクール」、「県民緑と花のフォーラム」等の緑化推進諸事業を通じて、県民の環境緑化への関心の盛り上がりを図ることとする。
- ②県内各地域において、NPOをはじめ任意団体等による各種の緑化活動が活発化している。今後環境緑化問題への対応に際しては、これらの団体の活動に充分な配慮を要する。従つて各地区におけるこれら諸団体の組織及び設立目的を把握し、必要に応じて意見交換、協議等を行うこととする。

3.「学校緑化」の普及推進への取組みについて

- ①平成16年度に校庭芝生のモデルとして寄贈した金沢市立四十万小学校のグラウンドについて、引続き利用状況や管理状況を追跡調査し、効果や問題点の把握と対応に努めると共に、その結果をもとに県や市の関係機関へ普及を働きかけることとする。
- ②学校緑化については、単に校庭の芝生化のみならず屋上の緑化や壁面緑化、更には校舎周辺の植栽等多様な分野がその対象となる。これらの分野について先進自治体における普及状況を調査研究し、本県における普及について検討することとする。

4.各種研修、講習会の開催について

- ①企業における造園技術・技能の向上および技術者の確保を図るため、昨年に引続き造園施工管理技術試験講習会を開催する。
- ②植栽基盤の改良等の基礎技術や環境緑化の最新技術について、理事会、部会で検討のうえ適宜研修会を開催する。また各種制度の改正や新制度等についても、必要な都度研修会を開催し、知識の向上に資することとする。

5.安全衛生管理活動への取組みについて

- ①最近の事故の多発化に鑑み、改めて安全教育の重要性を認識し、建設業労働災害防止協会の指導助言を得て各種の安全衛生に関する研修会を開催し、会員及び従業員の安全衛生に係る意識の啓蒙に努めることとする。
- ②関連諸団体の主催にする安全衛生に係る研修会等についてもその内容を会員に伝達し、必要に応じ積極的に参加することとする。

「学校の屋外環境づくり」

推進研究会

企画事業委員長 中 栄 英 晶

7月26日大阪社会福祉センターで開かれた「学校の屋外環境づくり」セミナーに企画事業委員2名が参加しました。(財)日本緑化センター主催で、講師の方は(社)日本造

園学会会長の中瀬勲氏と文部科学省の藤井淳志氏でした。講演は3時間半にわた

り、内容は学校緑化の大切さ、なぜ必要なのかと言う事でした。なぜ必要大切なのは当協会が推進しているように、地球温暖化・教育上の効果・防災上の効果この3つであると

言う事でした。しかしながらやはり予算上の問題・施工後の管理の問題でなかなか全国的に普及しないのが現状のようです。

当協会としても、これから学校緑化を推進してゆくには、これらの問題をまずクリアしなければ、なかなか学校緑化という事業も成功しないのではないかと思

います。企画事業委員会では、これからも学校緑化推進に向け行政への陳情等ができるよう問題点を一つずつクリアし石川県の学校緑化を推進してゆきたいと思



平成15年度から調査研究をスタートさせ、平成16年に(社)石川県造園緑化建設協会と金沢市造園緑化協会会員の協力で完成した校庭の芝生化県内第1号である金沢市立四十万小学校では、9月22日に引渡式も終り生徒の本格使用が始まりました。

ところが、グラウンドの使用状況・使用頻度・メンテナンスについての経験不足に加え、協会との情報交換の不十分なこともあり、今年4月の芝生は一部擦り切れた状態で、前年の完成時の面影がありませんでした。この事態に四十万小学校では学校・町会連合会・スポーツ少年団・育友会・オプザーバーで「芝生広場と共に四十万つ子を育てる会」を設立しました。当協会も会議に参加し、様々な情報や意見交換をおこない、それらをもとに芝生の補修について協議を重ね、理事会の承認を得て、6月下旬より施工にかかりました。

金沢市四十万小学校の校庭芝生化のその後

現在は芝生の養生中で青々とい

ています。今後は昨年の経験を生かし、「芝生広場と共に四十万つ子を育てる会」の運営委員会を中心に芝生の健全な生育とともに、学校と家庭、地域との連携を強める事が出来るよう今後とも協力してゆきたいと思

加賀地区区会第2弾

『史跡・名勝・巨木・名水等』

の提案について

(株)岸グリーンサービス 能登浩光

加賀地区会として県協会の発展を目標に、自分たちで何か仕事の掘り起こしをテーマに平成15年度より地区会の勉強会を始め、第1段階として南加賀を今後どの様に、また『石川県の緑化をどうしていくか』等を含めての幅広い範囲にわたり提案し、報告会を実施したのは前々回の広報で報告させていただきました。

今回は加賀地区第2弾として、我々が未来永劫まで残さねばならない『史跡・名勝・巨木・名水』



等をテーマに、自分達にできる周辺整備やサインの設置(一里塚)等を、加賀地区区会が平成16年8月より5班にグループに分れ、実施調査や地元官庁(教育委員会)等へ情報収集を行い編集し、平成17年3月提案書完成を目標に各グループと編集委員を中心に月1回以上の勉強会を実施しました。

各グループで行った調査報告を聞くと、各地域には市町村ごとに今まで知らなかった史跡や名勝・巨木等が多くあったようです。



中には地元住民でさえ知らない史跡もあって、「調査している最中にその町の人達との昔話しに花が咲き大変勉強になった。」というちよつとしたエピソードもありました。

ここに出来上がった提案書の簡単な紹介をしたいと思います。

「南加賀地域 史跡・名勝・巨木・名水等整備提案書」と題し、構成的には地域を細分化し、次の5区域に分けて提案内容をまとめられています。



- 1、加賀地区
 - 2、小松地区
 - 3、能美地区
 - 4、白山市(旧美川松任地区)・野々市町
 - 5、白山市山側地区
- (旧鶴町、居村、河内村、島越村、喜真村、白峰村)

それぞれに数多くの名勝・旧跡があり、埋もれていては惜しいものばかりです。

「編集にあたってはその名勝・史跡ごとの特性や地域性を活かした工夫や提案を心掛けました」

そういった意見も踏まえて出来上がった提案書を手元に、現在、加賀地区会として各官庁及び商工会議所等に各グループ単位で陳情していま



す。また、個々でも営業の一環としてこの提案書を利用しています。その結果一つでも我々の夢が実現していけば最高ですが、そこからの反応・意見等がフィードバックされ、また次のステップへとつながればとても有意義な事となります。

会員の皆さんの中で興味があるという方がございましたらお気軽にご連絡ください。

今後も、自分たちで出来ることをテーマに加賀地区会並びに当協会会員として活動を展開していきたいと思っております。

愛・地球博を見て

加藤 健一

石川県造園緑化建設協会では5月17日・18日に参加者22名で「花フェスタ2005ぎふ」「永保寺」「愛知万博」を視察しました。初日は岐阜方面の視察であったため東海北陸道を利用しました。初めて通行しましたが聞いていた通り山岳地帯でトンネルが多く、交通量が大変少ない道路でした。途中の城端SAは駐車スペースの間に高木を植栽するなど地方の道路

ならではのゆつたりとした空間が感じられました。昼食は刃物産地でもある美濃関物産館でとりましたが、並んでいた植木鋏や鋸の中にはプロの皆さんの目に留まった物は無かったようです。

岐阜県は花の都ぎふ運動15周年記念という節目を迎えており、「花フェスタ2005ぎふ」が盛大に開催されていました。そこには広大な敷地の中に日本最大のバラ園があり1600品種、41000株のバラが植えられています。世界ではじめてという青いバラが特別展示されており、人だかりとなっていました。ただ正直な感想としてはそれほど青くなく、どちらかというと薄い水色でちよつとがっかりしました。私にとっては、見慣れない樹木ばかりでしたが、参加者の中には、めずらしい樹木の品種名を看板



を見る前に言い当てる方もおり、さすがプロだなあと素直に思いました。

「虎渓山永保寺」は700年程前に夢窓国師により開かれた禅寺で、境内には鎌倉末期から室町初期に建てられた国宝に指定されている観音堂・開山堂を有し、夢窓国師作の庭園は国の名勝に指定を受けています。自然の地形を利用した岩肌と池があり、中国の水墨画のような癒しの印象を受けました。

その日の宿泊は、愛知県の矢作川沿いに面した、四季の旅情豊かな笹戸温泉「紫翠閣とうふや」でした。パンフレットには万博会場が一番近い温泉とありましたが、実際には会場から遠く離れた山奥でした。「とうふや」の名通り、湯葉の鍋や豆腐料理が並んでおり、御酒の美味しさも手伝って、翌日の視察の鋭気を養うことができました。

愛知万博では、開場30分前に到着しましたが、すでに入場門は入口が見えないくらいの人だかりでした。手荷物検査を終えようやく西ゲートより入場し進んで行きますと、まず長久手日本館の竹製の巨大なドームが目に入って来ました。ここで一気にワクワクとした気持ち盛り上がりつつも、トヨタ館や日立館まで行くにすでに待ち時間が3時間半という

ことで、なかなか人気のパビリオンには入場できない事実が確認できました。入りやすい外国館を中心に見学し、事務局が予約して下さったマシモスラボと、ブルーホール2005インチの巨大スクリーンは迫力満点で一見の価値ありでした。

緑化の方では、パネルで壁面緑化されている通路が数十メートル設置されていました。幅は5mくらいで霧状の散水を行っていたこともあり、とても涼しい空間でした。一部の建物では当然のように屋上緑化も施されていました。市街地でもこのような緑化が増えていくと確実にヒートアイランドを緩和していくと思えます。これからの業界が取り組んでいく課題の一つだと思います。



万博のテーマが「自然の叡智」であり、開場も既存の愛知青少年公園を整備しているのが花博にせまるような緑いっぱい開場でした。森林体感ゾーンにある日本庭園は、近代造形の「導入の庭」や、水と緑と石組みの「主庭」など、

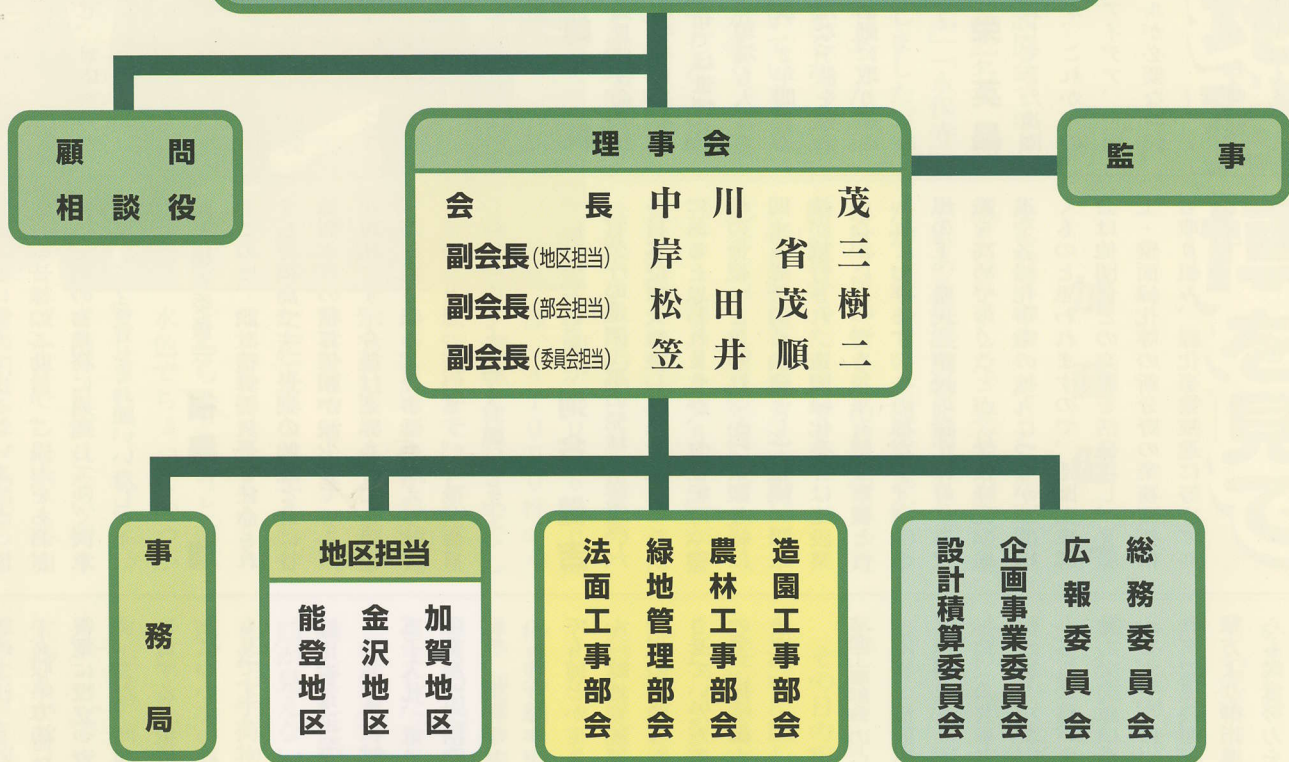
多彩な構成の庭園でしたが、たくさん使用されていた石材に切断時のクサビの跡が多く見られ、庭作りに関して素人の私ですが、これでもいいのかなと少々疑問に思いました。

午後からは雨も降り出したりしましたが、人だかりは収まらず16時の集合時にも、これから入場される方が大勢おり、この万博の人氣がうかがえました。

愛・地球博のサブテーマにありましたが、これからの地球を守っていくために人間の技と知恵が、色々な方面で発揮されるようになっていくかと思えました。

社団法人石川県造園緑化建設協会の組織

社団法人 石川県造園緑化建設協会



各部会・委員会

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>法面工事部会</p> <p>部長 明星 加守 暢
 副部長 笹村 豊
 副部長 金岩 幸男</p> | <p>緑地管理部会</p> <p>部長 後 秀夫
 副部長 東 心 義
 副部長 安田 猛</p> | <p>農林工事部会</p> <p>部長 北 総一朗
 副部長 山室 稔
 副部長 能登 浩光
 副部長 疋田 信博</p> | <p>造園工事部会</p> <p>部長 河合 健吉
 副部長 細川 勝
 副部長 角谷 欣治
 副部長 井川 國雄</p> |
| <p>設計積算委員会</p> <p>委員長 福島 清
 副委員長 浦島 誠
 副委員長 出島 光希</p> | <p>企画事業委員会</p> <p>委員長 中栄 英晶
 副委員長 植村 隆央
 副委員長 藤村 章
 副委員長 立花 栄志</p> | <p>広報委員会</p> <p>委員長 山崎 純
 副委員長 田中 好秋
 副委員長 清水 俊榮
 副委員長 廣野 拓雄
 副委員長 加藤 健一</p> | <p>総務委員会</p> <p>委員長 北市 一博
 副委員長 上野 次郎
 副委員長 村上 大介
 委員 根布 信秀
 委員 茨木 啓次
 委員 荒屋 義武</p> |

総務委員会 北市 一博

当協会も歴史を重ね、造園工事が公
共事業として多く展開されて今日まで、
諸先輩がその時代に応じ、対応努力さ
れて突っ走ってきた感があります。

しかし、時代も変わり、こころへん
でちょっと一息といえますか、会長の
御指導の基、組織の見直し、事業の在
り方など今までと違った視点で、協会
を見てみたいと思います。

より社会に貢献できる協会として、
各分会・各委員会が活発に活動できる
ように、総務委員会はアシストしてい
きます。

広報委員会 山崎 純

本年、広報委員会委員長に任命され
た山崎です。以前にも広報委員長を務
めました。当時と現在では世情も、
我々造園業界をとりまく環境も大きく
変わってきました。今後、2年間で当
協会における広報に新たな手法を模索
し、時代に則した広報活動に取り組み
たいと思います。

企画委員会 中柴 英晶

これまでは着々と成長してきた造園
業界であると思いますが、これからの
造園業界はいろいろなアイデア、企画
等業界側からのアピールが必要な時代
だと思えます。

企画事業委員会としても、今後歴代
委員長の行なって来た事業はもちろん
新企画・学校緑化事業の継続・行政へ
の協賛協力等の事業を行ってゆくつも

りです。

まことに微力ではございますが、協
会員の皆様のご助言、ご協力をあおぎ
業界発展の為業務に邁進してゆく決意
です。どうぞ宜しくお願いいたします。

設計積算委員会 福島 清

この度、設計積算委員長を任命され
ました福島です。景気の低迷と共に特
殊樹木等の積算依頼が減少しているの
が現状です。今後は業界あげて企画提
案型に取り組み、仕事量を増えさせて
いけたらと思っています。今後共会員
皆様の御協力よろしくお願いします。

造園工事部会長 河合 健吉

官公庁の造園工事の発注量が激減し、
各員各位は大変厳しい経営環境のなか
にあると思われませんが、21世紀は「環
境の世紀」と言われ、かつ景観と緑に
関する総合的な法律として景観・緑三
法が施行され、造園緑化業界は建設業
のなかにあっても将来有望な業種と言
われております。この様なフォロワーの
風の下、県民、市民の緑化に対する意
識を高めてゆくことが、学校緑化の推
進や各緑化事業の拡大につながってゆ
くものと思われれますので、造園工事部
会は他団体との交流を活発にし、又屋
上・壁面緑化等の新分野の業務開拓に
も取り組み、緑化事業推進に努めてゆ
きます。

農林工事部会 北 総一郎

各地区(加賀、能登、金沢)にあつ

た試験植栽方法を再考し、植栽方法や
管理方法、または植栽樹木の選定やデ
ータ収集方法についての手順書を策定、
営業に役立つ資料を作りたいたと考えま
す。また、問題となっている松食い虫
に対する、抵抗性松、抵抗性候補松な
どについての研究、調査をしていくつ
もりです。

緑地管理部会長 後 秀夫

公共工事に対する毎年度の予算削減、
電子入札、電子納品、一つの施設の管
理業務が一括発注となる指定管理者制
度等、業界をとりまく環境が一変して
いる昨今ですが、こうした中我々とし
ても何とか生き残らなければなりません。
緑地管理部会として協会の
皆様の一助となるような新たな提案を
させていただきたいと思っております
ので、何卒御支援ご協力御願いたし
ます。

法面工事部会のごとき 明星 加守暢

本年、法面工事部会担当として初め
て理事をさせていただくことになりま
した。公共事業が年々減少し厳しい状
況が続く中で、いろいろ迷走すること
もあると思いますが、新しい発想と行
動力で突破口を模索していきたいと考
えます。なにぶん若輩者ですので、こ
れまで協会運営に御尽力を頂いた諸先
輩方より御指導を頂きながら、これか
らも鋭意努力を行って参りたいと思
っておりますので、二年間何卒よろしく
お願い申し上げます。

平成17年度

通常総会開催される

平成17年5月27日ホテル六華苑にお
いて67名の会員が出席し、平成17年度
通常総会が開催された。冒頭植村会長
が挨拶に立ち、平成7年から今日まで
の5期10年にわたり会員の協力により
無事会長職を務められたことを感謝す
るとともに、長い任期中平成13年に金
沢公園を中心に開催された「第18回
全国都市緑化いしかわフェア」の盛況
が深く印象に残っていること、これか
らは厳しい時代が続くが会員夫々が既
成の技術、技能に甘んずることなく、
屋上緑化や壁面緑化を含め新技術に積
極的に取り組むことにより、新しい分野
への進出を心がけてほしいと述べられ、
引き続き議長の選出、提案された議案の
審議に入った。

平成16年度事業報告、同収支決算案
及び平成17年度事業計画、終始予算案
が原案どおり承認された後、理事の選
出に移り、新理事の協議により新しい
会長に中川茂(株)吉村植木園社長が選出
され、新しい体制でスタートすること
となり、

中川新会
長の就任
挨拶をも
つて午後
4時30分
総会はず
定どおり
終了した。



平成17年度

春季ゴルフ大会(第55回)開催される

去る6月10日恒例の協会春季ゴルフ
大会がかほく市の金沢ゴルフ倶楽部で
催され、沓掛事務所の池田英一さんを
はじめ16人が好天の下、日頃の腕を競
い合った。成績は次ぎのとおりである。

- 優勝 上野次郎(向川外樹園)
- 準優勝 北市一博(グリーンサービス加賀)
- 3位 池田英一(沓掛哲男参議院議員秘書)

都市公園指定管理者

- A本多の森公園、中央公園
H18年4月1日(日)H19年3月31日(土)までの1年間
- B犀川緑地、玉川公園
H18年4月1日(日)H19年3月31日(土)までの1年間
- C健民海浜公園
H18年4月1日(日)H21年3月31日(火)までの3年間
- D奥卯辰山健民公園
H18年4月1日(日)H19年3月31日(土)までの1年間
- E北部公園
H18年4月1日(日)H19年3月31日(土)までの1年間
- F粟津公園
H18年4月1日(日)H21年3月31日(火)までの3年間

※1指定の期間は県議会の議決事項となります。※2
指定管理者の責めに期すべき理由により、引き続き
指定管理者として管理することが適当でないとき県が
認めた場合は、指定を取消すことがあります。

申請書類の提出

- ①提出期間
平成17年9月5日(月)から10月21日(金)まで(県
の休日を除く)の午前9時から午後5時まで
- ②提出場所
左記まで持参又は書留郵便により郵送し
てください。電子メール、FAXによる提
出はできません。

石川県土木部公園緑地課(行政庁舎16階)
〒920-8580

石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL076-225-1771
※郵送の場合、最終日の午後5時までに必着のこと。